

## 東京青山68会 喜寿祝水戸観梅ウォーキング

平成30年3月7日、東京青山68会の第「22回ウォーキング」を水戸で開催しました。同期の皆さんが今年喜寿を迎えますので、お祝いをかねて「水戸観梅と新旧歴史探訪」と洒落込み、東京、千葉、神奈川など遠方からも水戸まで足を運ばれ16人の参加がありました。



今年の冬は寒さが続き、「偕楽園」の早咲きの梅も開花が遅れましたが、3月に入ってからの暖かさで一斉に咲き誇り見事な花見となりました。

「好文亭」から遥か「千波湖」を望み、園内の梅林の眺望は、その当時、「水戸9代藩主斉昭公」も堪能されたことでしょう。



¥



「常盤神社」をお参りし、小澤征爾が館長を勤める「水戸芸術館」を訪ねました。館内では現代アートの美術展が開催されており、少々理解に苦しむ作品もありましたが、約 100mの館内の塔に登り水戸市内や那珂川、遙か筑波山の眺望を堪能しました。

昼食は近くの海鮮問屋で名物の「あんこう鍋」が並び、大きな鍋には鮫鯨が溢れ、オプションの雑炊やうどんは、とてもお腹には入りませんでした。





昼食後は、水戸城のお堀を眺め、たびたび映画やテレビの撮影に使われる「旧茨城県庁」を眺め、斉昭公が開設した藩校「弘道館」を訪ねました。医学、文学、武学などの学び舎で、吉田松陰や徳川慶喜も勉強したところで、水戸光圀編纂の大日本史も展示され、我々が生まれる100年前建立の姿を垣間見ることができました。弘道館の庭園の梅もほぼ満開、蟬梅やサンシュウが咲き誇り見事でした。



空襲を経験した大銀杏を眺めながら水戸駅まで歩き、午後4時頃、ひとりの脱落者も無く無事到着し散会しました。思い出に残る水戸散策となりました。小生初めての幹事を務めさせていただきました。至らなかったところをご勘弁ください。大勢の同期の人に遠くまで参加いただき、ありがとうございました。当日の「観梅御一行様」の中でも最も大人数の団体でした。お疲れ様でした。

2018.3.11

\*案内・報告 上村昌司

\*写真・編集 齋藤正果

\*連絡幹事 村山隆男 齋藤健彌